

ハウス栽培向け
大気中二酸化炭素(CO₂)濃縮・供給装置

C/SAVE Green®

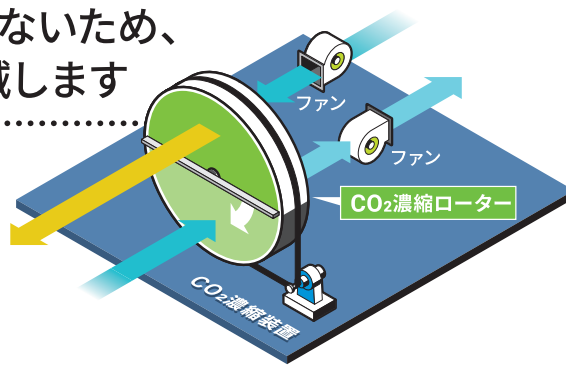
ヒーターなし、通信ユニットなしで低価格を実現
1日450円、1シーズンで電気代約5～6万円（1日6時間使用）

ローコストモデル

ハウスの内側と外側の温度差でCO₂を吸脱着

ハウス内のCO₂濃度は+50～100ppm程度

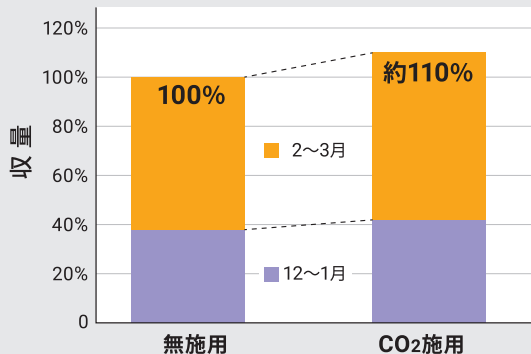
ヒーターで昇温させないため、
電気代を大幅に削減します



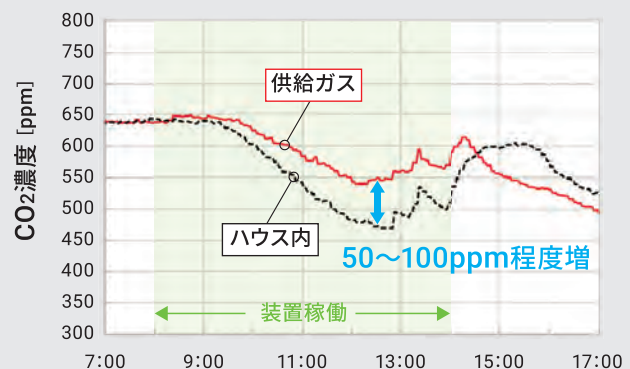
高設いちごハウスの実証試験

無施用と比較して収量が約10%増加しました

高設いちご収量の比較



CO₂濃度のグラフ

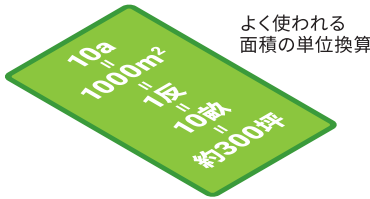
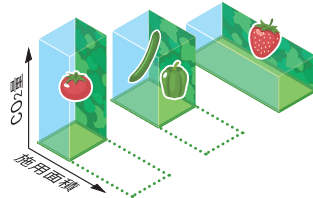


ラインナップ

MODEL		CSG-62L	CSG-102L
CO ₂ 供給量	kg/h	～1.0	～3.0
(1日CO ₂ 回収量)	(kg/day)	(～6)	(～18)
施用面積	a	～10	10～20
最大電流	A	13	20
最大電力量	kVA	4.5	6.9
寸 法	mm	854×847×1595	1381×1257×1747
重 量	kg	300	440
設置場所		ハウス内	屋外
電 源		AC200V×3φ×50/60Hz	

施用面積について

葉の高さの違いで必要なCO₂量は
いちご＜ピーマン＜キュウリ＜トマト
の順で多くなります。
そのため、対応する施用面積は作物
によって異なります。



※1) 寸法は取っ手やダクト取付部分などを除く。
※2) 電源電圧許容公差は±5%。1次配電側へは高周波・サージ対応型の漏電遮断器の使用を推奨。

ランニングコスト比較

方 式	C-SAVE Green®		燃焼方式	ボンベ式
				
	スタンダード	ローコストモデル ヒーターなどを含まず導入コスト削減		
ランニングコスト	13万円	5～6万円	15万円	59万円
収量増(無施用比)	27%アップ	10%アップ	10～15%アップ	20～30%アップ
ハウス内温度上昇	な し		あ り	な し
メンテナンス	年1回の定期点検		燃料補給	ボンベ交換
原料由来	大 気		化石燃料	化石燃料

想定条件 2024年度の実際の 値を元に算出	●灯油代：120円/L ●電気代：25円/kWh ●ボンベ代：300円/kg	●C-SAVE Green®とボンベ式は 1日8時間 12～5月(6ヵ月)の運転	●燃焼方式は 1日5時間 12～3月(4ヵ月)の運転
------------------------------	--	--	----------------------------------



ホームページは
こちらから

連絡先: sales@seibu-giken.co.jp